

## I. 2019年(令和元年)の福井県の貿易概況

2019年の福井県の貿易は、輸出は前年(2018年)より7.5%減の2,079億5,511万円、輸入は21.5%減の1,532億3,634万円となった。この結果、輸出超過額は547億1,877円となり、前年の超過額295億119万円に比べ85.5%増加した。

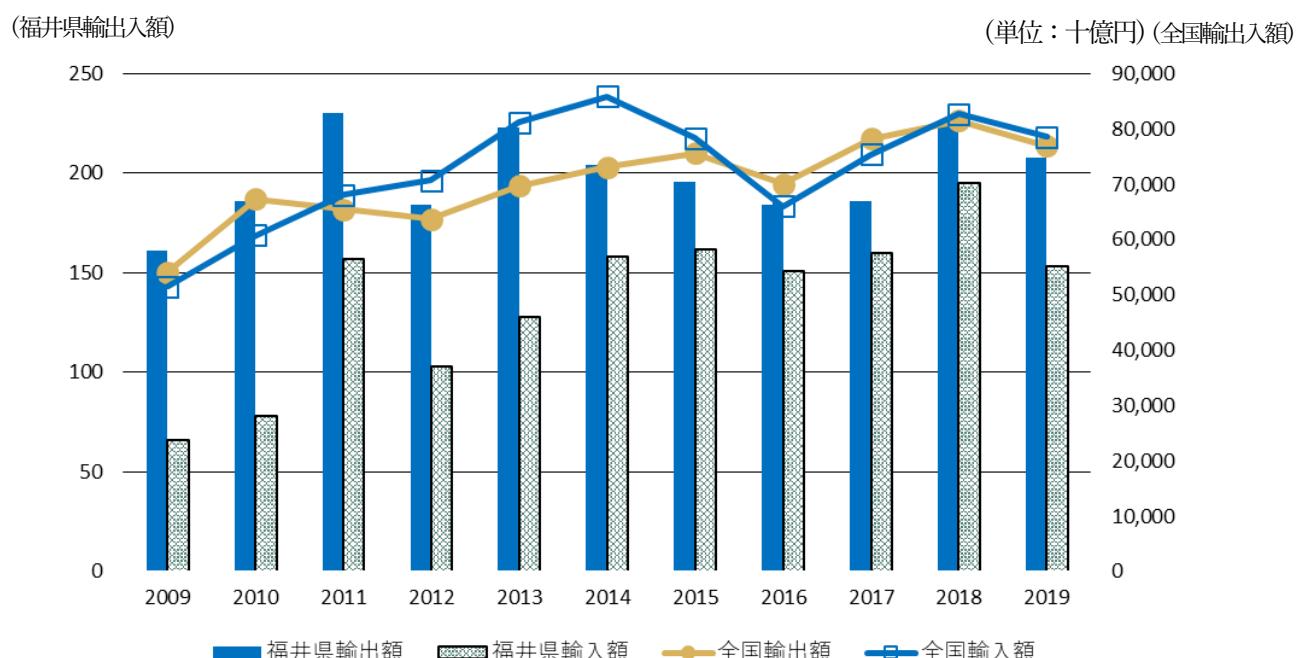
表1-最近の輸出入額の推移

(単位:千円・%)

年	福井県輸出額		福井県輸入額		貿易収支		全国輸出入額	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	全国輸出額	全国輸入額
2009	160,782,400	△ 18.5	66,289,716	△ 30.0	94,492,684	△ 7.7	54,170,614,088	51,499,377,779
2010	185,507,725	15.4	78,334,463	18.2	107,173,262	13.4	67,399,626,696	60,764,956,840
2011	230,101,535	24.0	156,732,578	100.1	73,368,957	△ 31.5	65,546,474,948	68,111,187,178
2012	183,504,966	△ 20.3	103,487,820	△ 34.0	80,017,146	9.1	63,747,572,215	70,688,631,840
2013	223,478,592	21.8	127,875,777	23.6	95,602,815	19.5	69,774,192,950	81,242,545,171
2014	204,322,929	△ 8.6	157,551,120	23.2	46,771,809	△ 51.1	73,093,028,311	85,909,112,733
2015	195,855,832	△ 4.1	161,716,505	2.6	34,139,327	△ 27.0	75,613,928,862	78,405,535,793
2016	183,980,906	△ 6.1	151,196,246	△ 6.5	32,784,660	△ 4.0	70,035,770,383	66,041,973,885
2017	186,130,873	1.2	159,892,668	5.8	26,238,205	△ 20.0	78,286,457,048	75,379,231,107
2018	224,727,984	20.7	195,226,791	22.1	29,501,193	12.4	81,478,752,674	82,703,304,395
2019	207,955,114	△ 7.5	153,236,342	△ 21.5	54,718,772	85.5	76,931,664,915	78,599,509,951

全国輸出入額の出所:財務省貿易統計

図1-最近の輸出入額の推移



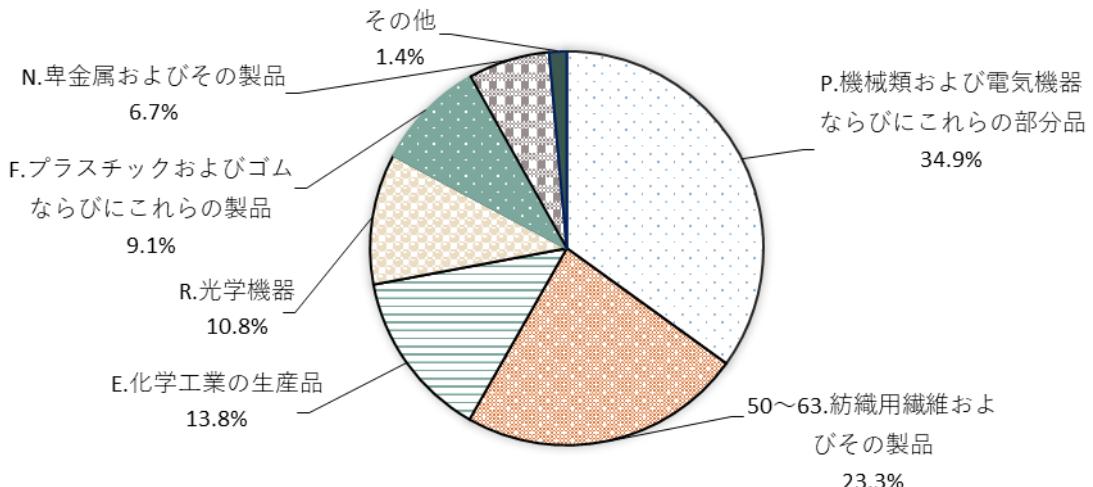
輸出品目別の動向を見ると、前年に比べ輸出額が増加した主な品目は、「50～63.紡織用纖維およびその製品」である。全輸出に占める各品目の割合は、「P.機械類および電気機器ならびにこれらの部分品」、「50～63.紡織用纖維およびその製品」、「E. 化学工業の生産品（無機化学品、有機化学品、医療用品、染料、インキ、化粧品類、洗剤など）」、および「R.光学機器」で82.8%を占める(それぞれ 34.9%、23.3%、13.8%、10.8%)。

(単位：千円)

表2－品目別輸出額と増減額

コード	品目	2018年		2019年		増減額
		輸出額	構成比	輸出額	構成比	
A	動物および動物性生産品(動物、肉、魚、甲殻類、軟体動物、酪農品およびこれらの調製品)	113,275	0.1%	86,697	0.0%	△26,578
B	植物性生産品(樹木、切花、野菜、果実、穀物、茶、たばこなど)	270,831	0.1%	99,542	0.0%	△171,289
C	糖類、飲料、アルコールおよび食酢	222,728	0.1%	220,466	0.1%	△2,262
D	鉱物性生産品(塩、硫黄、セメント、鉱物性燃料など)	71,996	0.0%	60,163	0.0%	△11,833
E	化学工業の生産品(無機化学品、有機化学品、医療用品、染料、インキ、化粧品類、洗剤など)	33,250,771	14.8%	28,731,461	13.8%	△4,519,310
F	プラスチックおよびゴムならびにこれらの製品	23,574,162	10.5%	18,833,825	9.1%	△4,740,337
G	皮革および毛皮ならびにこれらの製品、ハンドバッグ等これらに類する容器	0	0.0%	0	0.0%	0
H	木材及びその製品、木炭、コルク及びその製品並びにわら、エスペルトその他の組物材料の製品並びにこかご細工物及び枝条細工物	92,099	0.0%	68,323	0.0%	△23,776
J	木材やパレット、繊維素繊維を原料とする他のパレット、古紙ならびに紙および板紙ならびにこれらの製品	180,344	0.1%	140,047	0.1%	△40,297
50～63	紡織用纖維およびその製品	46,760,990	20.8%	48,428,772	23.3%	1,667,782
K	履物、帽子、つえ、および調整羽毛、羽毛製品、造花並びに人髪製品	2,299	0.0%	2,299	0.0%	0
L	石、セメント、陶磁製品、ガラスおよびその製品	553,575	0.2%	654,151	0.3%	100,576
M	天然または養殖の真珠、貴石、貴金属、およびその貨幣	0	0.0%	0	0.0%	0
N	卑金属およびその製品	13,408,831	6.0%	13,914,193	6.7%	505,362
P	機械類および電気機器ならびにこれらの部分品	77,439,436	34.5%	72,672,976	34.9%	△4,766,460
Q	車両、航空機、船舶および輸送機器類連品	659,250	0.3%	873,902	0.4%	214,652
R	光学機器(眼鏡、眼鏡フレーム、眼鏡レンズ、眼鏡部分品)	27,533,772	12.3%	22,387,269	10.8%	△5,146,503
S	精密機器、楽器並びにこれらの部分品	534,871	0.2%	719,399	0.3%	184,528
T	家具、寝具、クッションその他詰め物をした物品、玩具および運動用具ならびに部分品、美術品および骨董	58,754	0.0%	61,629	0.0%	2,875
	合計	224,727,984	100.0%	207,955,114	100.0%	△16,772,870

図2－2019年品目別輸出額の構成比



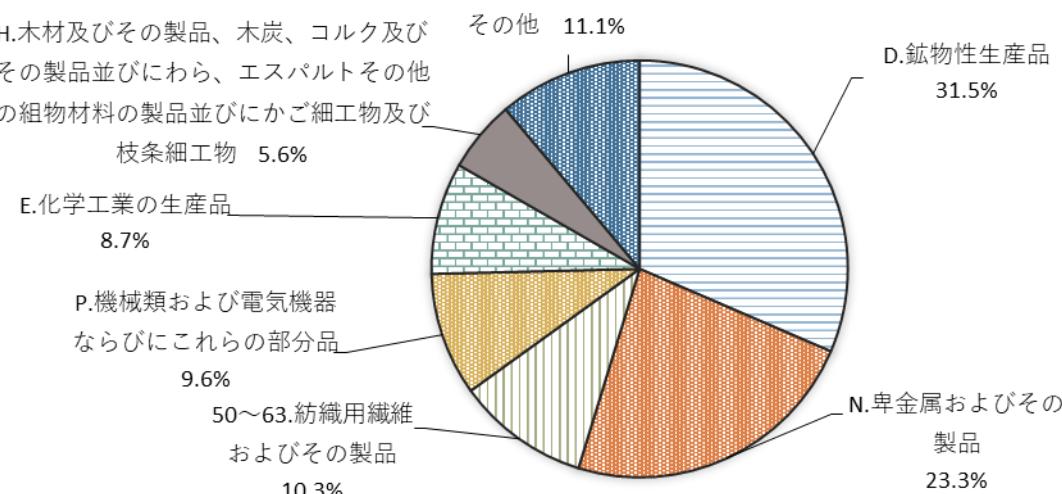
輸入品目別の動向を見ると、前年に比べ輸入額が増加した主な品目は、「T. 家具、寝具、クッションその他詰め物をした物品、玩具および運動用具ならびに部分品、美術品および骨董」であり、逆に減少した主な品目は、「D. 鉱物性生産品（塩、硫黄、セメント、鉱物性燃料など）」などである。

表3－品目別輸入額と増減額

(単位：千円)

コード	品目	2018年		2019年		増減額
		輸入額	構成比	輸入額	構成比	
A	動物および動物性生産品(動物、肉、魚、甲殻類、軟体動物、酪農品およびこれらの調製品)	4,455,692	2.3%	4,423,790	2.9%	△31,902
B	植物性生産品(樹木、切花、野菜、果実、穀物、茶、たばこなど)	387,310	0.2%	323,992	0.2%	△63,318
C	糖類、飲料、アルコールおよび食酢	224,461	0.1%	322,364	0.2%	97,903
D	鉱物性生産品(塩、硫黄、セメント、鉱物性燃料など)	65,899,069	33.8%	48,235,128	31.5%	△17,663,941
E	化学工業の生産品(無機化学品、有機化学品、医療用品、染料、インキ、化粧品類、洗剤など)	16,355,764	8.4%	13,280,013	8.7%	△3,075,751
F	プラスチックおよびゴムならびにこれらの製品	10,329,074	5.3%	5,797,671	3.8%	△4,531,403
G	皮革および毛皮ならびにこれらの製品、ハンドバッグ等これらに類する容器	137,536	0.1%	187,150	0.1%	49,614
H	木材及びその製品、木炭、コルク及びその製品並びにわら、エスパルトその他の組物材料の製品並びにかご細工物及び枝条細工物	10,247,263	5.2%	8,568,727	5.6%	△ 1,678,536
J	木材パルプ、繊維素繊維を原料とする他のパルプ、古紙ならびに紙および板紙ならびにこれらの製品	144,114	0.1%	80,515	0.1%	△63,599
50～63	紡織用繊維およびその製品	22,646,540	11.6%	15,794,877	10.3%	△6,851,663
K	履物、帽子、つえ、および調整羽毛、羽毛製品、造花並びに人髪製品	86,759	0.0%	51,129	0.0%	△35,630
L	石、セメント、陶磁製品、ガラスおよびその製品	156,094	0.1%	245,808	0.2%	89,714
M	天然または養殖の真珠、貴石、貴金属、およびその貨幣	0	0.0%	0	0.0%	0
N	卑金属およびその製品	36,329,540	18.6%	35,671,234	23.3%	△658,306
P	機械類および電気機器ならびにこれらの部分品	18,657,228	9.6%	14,639,910	9.6%	△4,017,318
Q	車両、航空機、船舶および輸送機器関連品	114,418	0.1%	82,325	0.1%	△32,093
R	光学機器(眼鏡、眼鏡フレーム、眼鏡レンズ、眼鏡部分品)	8,967,892	4.6%	4,644,013	3.0%	△4,323,879
S	精密機器、楽器並びにこれらの部分品	24,178	0.0%	7,266	0.0%	△16,912
T	家具、寝具、クッションその他詰め物をした物品、玩具および運動用具ならびに部分品、美術品および骨董	63,859	0.0%	880,430	0.6%	816,571
	合計	195,226,791	100.0%	153,236,342	100.0%	△41,990,449

図3－2019年品目別輸入額の構成比



2019年の輸出入額を地域別で見ると、本県の輸出はアジア向けが最も多く全体の65.9%を占めている。以下、北米(17.5%)、欧州(13.3%)、中東(1.6%)の順となっている(図4、後掲の表15)。

また、輸入もアジアが最大の相手先であり、全体の55.8%を占めた。次いで、欧州(14.8%)、北米(6.0%)、オセアニア(6.0%)の順となっている(図4、後掲の表17)。

アジアのうち最も金額が多いのが、輸出では東南アジアで28.0%を占め(表15)、輸入では中国・香港で36.9%を占めている(図4、表17)。

また、地域別輸出入額構成比を10年前の2009年と比較すると、アジアの占める割合は、輸出が6.8%、輸入は21.4%減少している(図5)。

図4－2019年地域別輸出入額の構成比

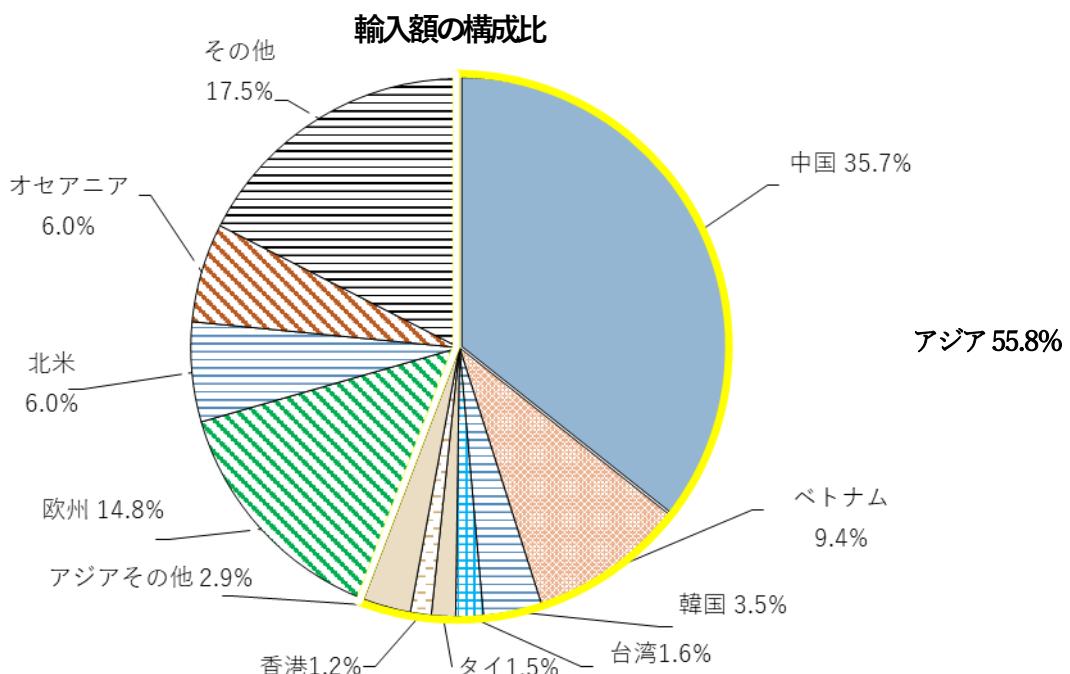
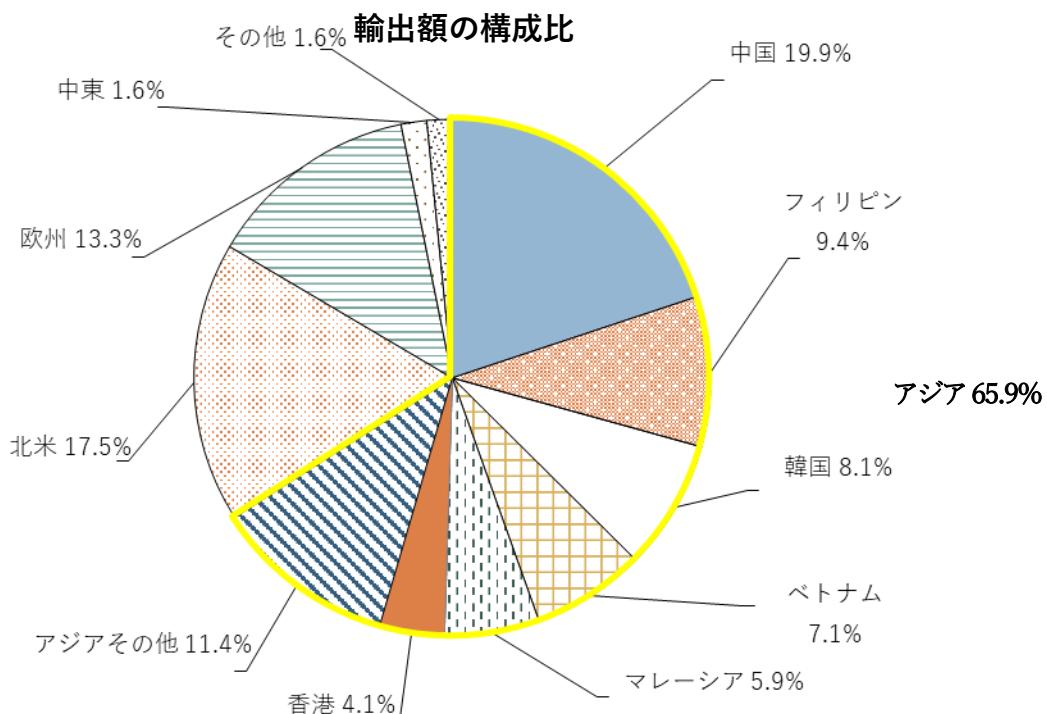


図 5- 地域別輸出入額構成比の変化

